

# 安足地域水稲技術情報 No.4

令和4(2022)年7月29日  
安足農業振興事務所

## 作業の重要ポイント

- ① 生育に合った水管理を行いましょ
- ② ほ場や生育に合わせて、中干しを行いましょ

### 1 水稲生育診断ほ場(佐野市石塚町)の生育調査結果(参考)

6月16日移植のとちぎの星では、最高分げつ期前頃になっています。

表1 水稲生育診断ほの生育調査結果

品種：とちぎの星 移植日：6月16日	7月20日調査
草丈(cm)	59.0
茎数(本/m <sup>2</sup> )	393
葉齢	9.8
葉色(葉色板)	4.6



写真 水稲生育診断ほの様子

### 2 今後の気象

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/23~08/22	20 30 50
		1週目 07/23~07/29	20 30 50
		2週目 07/30~08/05	20 40 40
		3~4週目 08/06~08/19	20 30 50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/23~08/22	40 30 30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 07/23~08/22	30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気象庁の1ヶ月予報(7月21日発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は高い、降水量は少ない、日照時間は多いという予想が出されています。

### 3 これからの作業のポイント

#### (1) 茎数を確認して、必要な水管理を行きましょう

表2の茎数を確保した場合は、間断かん水(図2)を開始しましょう。間断かん水を行うことで、稲の根に水と酸素が供給され、根張りが良くなります。

確保できていない場合は、浅水管理等で水温を高く保ち、分けつの発生を促進させましょう。



図1 茎数の数え方

表2 間断かん水開始の目安

栽植密度	とちぎの星 (340本/m <sup>2</sup> )	あさひの夢 (360~380本/m <sup>2</sup> )
50株/坪植え	23本/株	24本/株
60株/坪植え	19本/株	20本/株
70株/坪植え	16本/株	17本/株

注) ( )の数値は目標茎数を示す

高温時の常時湛水は、根腐れの要因になります。

目標茎数を確保次第、速やかに間断かん水を開始しましょう。



足跡に水がたまっている箇所(赤丸部分)が散見されるようになったら、再び入水



田面の高い部分がしっかり湛水する程度に入水

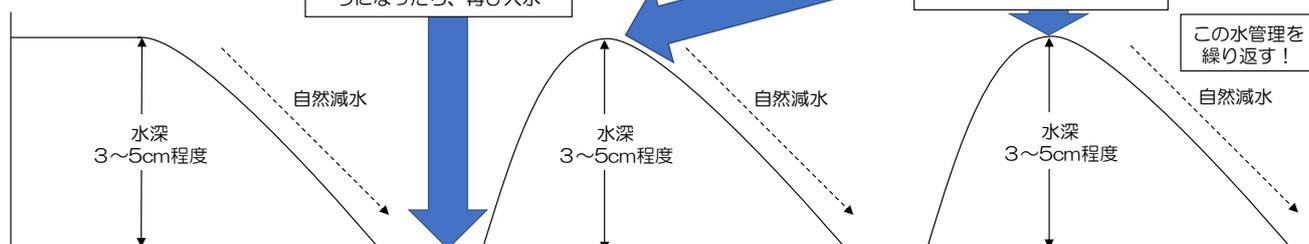


図2 間断かん水のイメージ

(2) ほ場や生育に合わせて、中干しを行いましょ。中干し後は、間断かん水を行いましょ。

- 水はけが悪い
  - 茎数が多すぎる、葉色が濃い
  - 毎年倒伏してしまう
- ➡ 最高分けつ期前後（6月中旬移植の場合、7月下旬～8月上旬）に、7～10日の中干しをしましょ。

#### 《中干しの効果》

- ① 無効茎（穂の付かない茎）を減らし、適正な生育量を維持する
- ② 下位節間の伸長を抑えて、倒伏しにくい稲にする
- ③ 土壤中に酸素を供給して根の健全化を図る

#### 《中干しの方法》

- ・田面に幅5mm位のヒビが入り、足跡がつく程度まで干す
- ・生育量の多いほ場は強め（田を楽に歩ける程度）に、生育量が少ないほ場は弱め（小ヒビが入り軽く足跡がつく程度）に干す
- ・水持ちのよいほ場は期間を長く、水持ちの悪いほ場は期間を短くする



極端に強すぎる（大きなヒビが入る）中干しは、断根で稲が弱ったり、水持ちが悪くなったりするため控えましょ。



### (3) いもち病対策

農業環境指導センターの発表する予察情報に注意するとともに、ほ場をよく見回り、早期発見・適期防除に努めましょ。

水田に放置された補植用の苗は、いもち病の発生源になるため、速やかに処分しましょ。

7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

夏の農作業で、以下のことに気をつけましょ。



- ・日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょ。
- ・こまめな休息、水分補給を行いましょ。
- ・体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょ。

問い合わせ先

安定農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431  
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>